



あいさつ

沖縄県教育委員会

教育長 金城 弘 昌

沖縄県立第二中学校・県立那覇高等学校が創立110周年の佳節を迎え、記念式典が開催されるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

那覇高校は、明治43年4月1日に首里城内に沖縄県立中学校分校として創立され、爾来、明治、大正、昭和、平成、令和の五代にわたり、百十年の永きに亘る誉れ高い歴史と伝統を積み上げて参りました。

顧みますと、明治44年には沖縄県立第二中学校として独立し、大正8年には現在の場所へ移転したものの、昭和19年10月10日、いわゆる「10・10空襲」により、校舎が焼失しました。その後、昭和22年に首里高等学校那覇分校として設立が認可され、昭和24年に那覇高等学校として発足いたしました。

その後、幾多の苦難を乗り越え、年々充実発展し、名実ともに本県を代表する名門校として輝かしい伝統を築き上げて参りました。この間、多くの優れた人材を輩出し、県内外の政治・経済・文化・教育の各界において責任ある立場でご活躍しておられることは、周知のとおりであり、誠にご同慶にたえません。

百十周年を迎えるにあたり、那覇高校発展のためにご尽力くださいました歴代校長をはじめ、教職員、同窓生、保護者並びに地域の皆さまに、改めて衷心より敬意と謝意を表する次第でございます。

さて、那覇高校は「和衷協同」「積極進取」の校訓のもと、設立以来生徒の「文武両道」を体現する活躍には、めざましいものがあります。こうした光輝ある伝統が、一世紀余に及ぶ今日まで一貫して続き、後輩たちに連綿と受け継がれてきているのであります。

創立百十周年という節目に、在校生諸君に望みたいことは、先輩たちが営々と築いてきた尊い歴史と偉大な足跡に今一度学ぶとともに、それらをさらに発展させて、新たな歴史と伝統を築き上げるべく、不断に奨励することです。「雨にも風にも嵐さへ たゆまず進む学の道 結ぶ心のゆたかにも 励まし励む那覇高校」と校歌にあるように、学問の道に努力を重ね、団結の中で培った友情が豊かな心を育み、互いに励まし合っていく那覇高校の生徒としての、さらなる精進を期待します。

今や社会は、Society5.0とも呼ばれる新たな時代の到来の中、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新と激しい変化の時代を迎えています。そのような時代にこそ、若いみなさんの瑞々しい感性や豊かな発想力が求められています。皆さんには、持続可能な社会の担い手として、高い理想を掲げ広く世界に目を向けながら、自己を確立し、互いに尊敬しあえる社会を築いていくことを期待します。

結びに、那覇高校創立百十周年に際し、物心両面からご助力くださいました関係各位に対し心から感謝申し上げ、那覇高校の限りない発展を祈念いたしまして、あいさつといたします。

令和2年10月17日